

◆◇◆◇ 平成 29 年度 下水道事業会計の予算です。◆◇◆◇

H29 歳出予算額は 63 億 3,570 万円 (前年比 9.91%減)

※H28 は 70 億 3,330 万円

| ☆収益的収入及び支出の主な内訳 | | ☆資本的収入及び支出の主な内訳 | |
|-----------------|--------------|-----------------|--------------|
| ●下水道事業収益 | 37億4,970万円 | ●資本的収入 | 19億1,500万円 |
| 営業収益 | 12億3,029万5千円 | 企業債 | 8億2,500万円 |
| 下水道使用料 | 12億1,800万円 | 建設改良債 | 1億7,330万円 |
| 他会計負担金 | 1,185万6千円 | 資本費平準化債 | 6億5,170万円 |
| その他営業収益 | 43万9千円 | 他会計補助金 | 9億701万3千円 |
| 営業外収益 | 25億1,940万5千円 | 他会計補助金 | 9億701万3千円 |
| 受取利息及び配当金 | 243万4千円 | 補助金 | 1億5,500万円 |
| 他会計補助金 | 12億6,503万7千円 | 国庫県費補助金 | 1億5,500万円 |
| 長期前受金戻入 | 12億5,161万5千円 | 分担金及び負担金 | 2,798万7千円 |
| 雑収益 | 31万9千円 | 分担金 | 1,260万円 |
| | | 負担金 | 1,538万7千円 |
| ●下水道事業費用 | 37億4,000万円 | ●資本的支出 | 26億3,170万円 |
| 営業費用 | 30億4,260万5千円 | 建設改良費 | 4億643万6千円 |
| 管渠費 | 1億2,190万7千円 | 管渠建設費 | 6,280万円 |
| 処理場費 | 5億4,202万1千円 | 管渠改良費 | 0万円 |
| 総係費 | 1億6,702万1千円 | 処理場建設改良費 | 3億4,363万6千円 |
| 減価償却費 | 21億8,720万9千円 | 固定資産購入費 | 5,990万円 |
| 資産減耗費 | 2,444万7千円 | 有形固定資産購入費 | 5,990万円 |
| 営業外費用 | 6億5,585万5千円 | 企業債償還金 | 21億6,536万4千円 |
| 支払利息及び企業債取扱諸費 | 5億8,710万円 | 建設企業債元金償還金 | 21億1,943万7千円 |
| 消費税及び地方消費税 | 6,875万1千円 | 資本費平準化債元金償還金 | 4,592万7千円 |
| 雑支出 | 4千円 | | |
| 特別損失 | 154万円 | | |
| 過年度損益修正損 | 154万円 | | |
| 予備費 | 400万円 | | |
| 予備費 | 400万円 | | |

【注】・**他会計負担金** 雨水処理に要する一般会計負担金です。・**他会計補助金** 繰出基準等に基づく元利償還金等に対する一般会計繰入金です。・**長期前受金戻入** 会計制度の改正に伴って、資産取得時の補助金等は、繰延収益「長期前受金」として整理され、その資産の減価償却見合い分を収益化するための科目及び企業債の元金償還に充当する一般会計繰入金について、収益化するための科目です。・**総係費** 事業活動全般にかかる一般管理費、人件費、物件費の総称です。・**減価償却費** 下水道の排水に必要な浄水場やポンプ設備などは、一度整備すると何年も使え、この整備に要した費用について、その年だけの費用で処理するのではなく、次期の再整備に向けての財源を確保する必要から、予め決められた期間に割り振って費用化するための科目です。・**資産減耗費** 固定資産除却費とたな卸資産減耗費に分類され、そのうち、固定資産除却費は、固定資産が使用により滅失し、又はその機能的に資産本来の使用に耐えなくなったときは、この固定資産を廃棄し、その帳簿価格を除くことを除却といい、除却の際にこの固定資産のまだ減価償却費として費用化されていない額を除却費として計上します。・**過年度損益修正損** 過年度の経理の誤りなどの修正によって生ずる損失を言います。

◆◇ 平成 29 年度の下水道は、こんな事業をします。◆◇

◎公共下水道施設の長寿命化を図ります。【戦略的事業】

下水道処理施設の長寿命化対策は、施設や機器が機能を失う前に、オーバーホールや更新を行うことによって機能を継続させようとするものです。平成 20 年度からは国庫補助メニューである下水道長寿命化支援制度による改築更新を実施してきましたが、平成 27 年度において新たに示されたストックマネジメント実施による長寿命化計画を策定した上での国庫補助制度に移行がされました。

このため、策定済みの長寿命化計画により氷上東、氷上南、和田の 3 浄化センターは改築更新工事を実施するとともに、今後の改築更新のために策定するストックマネジメントによる長寿命化計画に基づき、氷上北、黒井の改築更新実施設計業務を実施します。(※2億3,200万円)

◎雨水対策事業を実施します。【戦略的事業】

雨水処理施設として整備した東部雨水ポンプ場について、東部雨水ポンプ場の増設に伴う実施設計業務に着手して、雨水対策を図ります。(※2,000万円)

◎農業集落排水施設の機能強化対策を実施します。【戦略的事業】

農業集落排水施設については、新たな機能強化対策に向けて、昨年度に機能診断を行った氷上西、氷の川第 3、野上野、大路、国領中央、春日部北、春日部西の 7 浄化センターの機能強化の計画策定業務を実施します。(※1,260万円)

◎下水道施設の統廃合を実施します。【戦略的事業】

下水道中期ビジョンに基づく施設統廃合に向けて、和田浄化センターに和田西地区を流入させるための実施設計業務や、小川浄化センターに草部、南中、和田南地区を流入させるために小川浄化センター増設工事実施設計業務に着手します。(※2,000万円)

◎不明水調査・止水工事を行います。

下水道管等の老朽化や一般家庭における誤接続により、降雨時に雨水が不明水として侵入し、処理場の機器等に甚大な被害を及ぼすとともに、維持管理面でも支障をきたしている。このため、計画的に不明水対策を行い、維持管理経費(光熱水費等)の削減や処理施設での減災に繋がっていきます。平成 29 年度は、前年度から引き続き、丹波市各処理区域において不明水の浸水防止対策を行います。(※1,662万5千円)